

今回の数字

520,376

作成日：平成 23 年 7 月 1 日
 作成元：坂井市役所 企画情報課
 TEL:0776-50-3013
 FAX:0776-66-4837
 MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～坂井市の水産業～

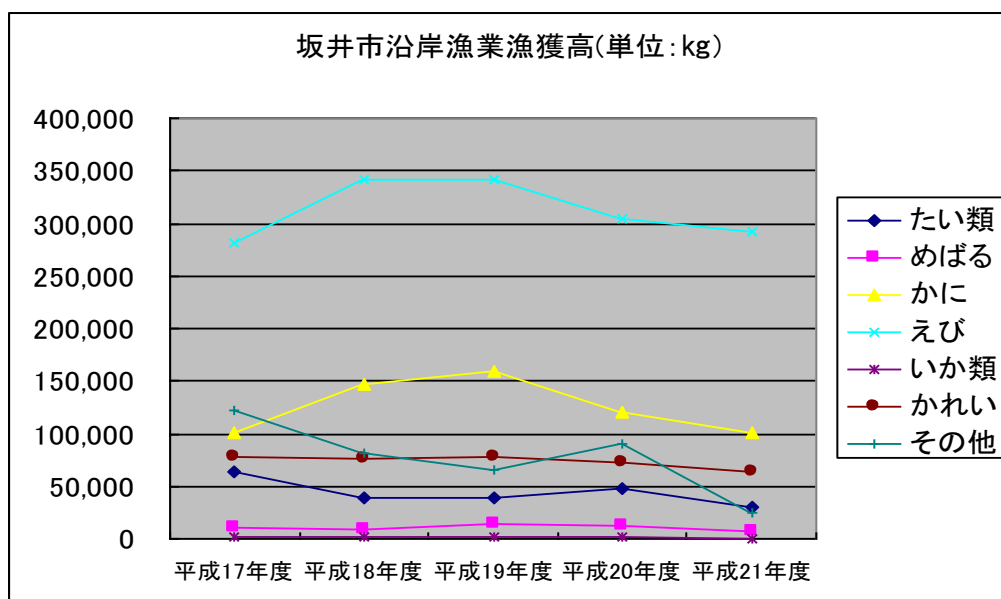
梅雨が明けると夏がやってきます。

夏といえば海！坂井市は海に面しており、夏は花火や海水浴客で浜辺が賑わいます。また夏だけではなく四季を通じて新鮮な海の幸にも恵まれています。

7月の第3月曜日、今年は7月18日(月)が海の日です。海の日は、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」として、平成8年から国民の祝日として制定されました。今回は海からの恩恵、坂井市の水産業に関する数字を紹介します。

□坂井市で水揚げされている魚

平成17年度から平成21年度までの坂井市沿岸漁業漁獲高をグラフにしてみました。

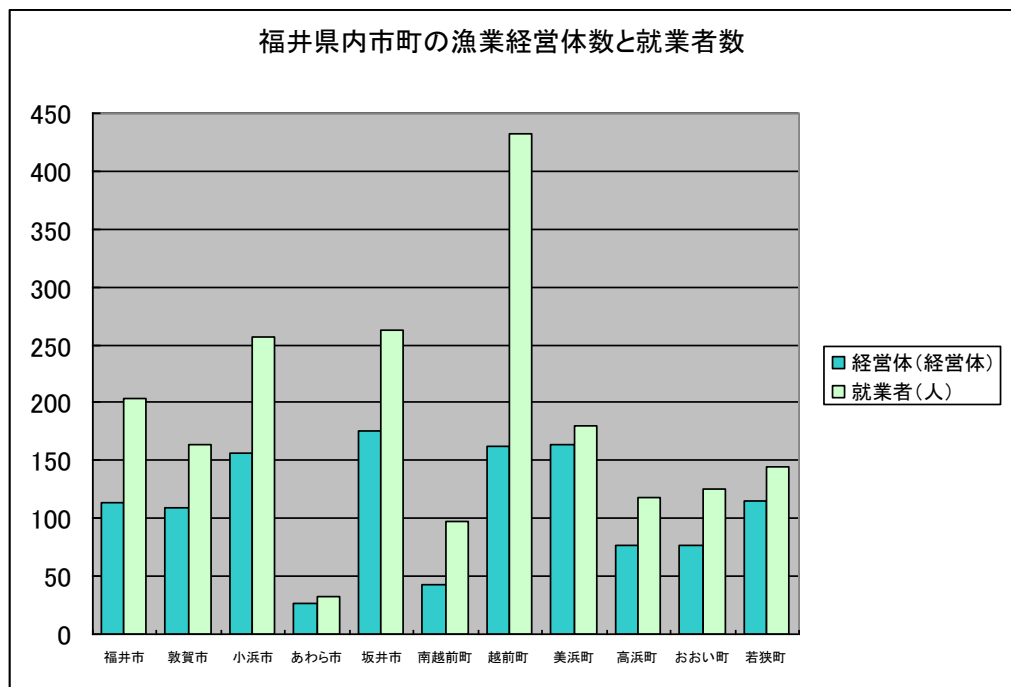


資料：三国総合支所地域振興課 出典：平成22年版坂井市統計年報

上のグラフを見て分かるように、坂井市で一番獲れる海産物はえびとなっています。また、冬の味覚の代表、かにも他の魚に比べて漁獲量が高いことが分かります。この他にも、かれいやたい類、めばる、いかなどが水揚げされています。

農林水産省では、5年ごとに水産業を営んでいる全ての世帯や法人を対象に全国一斉の調査【漁業センサス】を実施しています。平成20年に実施された調査結果から、坂井市の状況を見てみましょう。

□漁業経営体数は福井県内1位



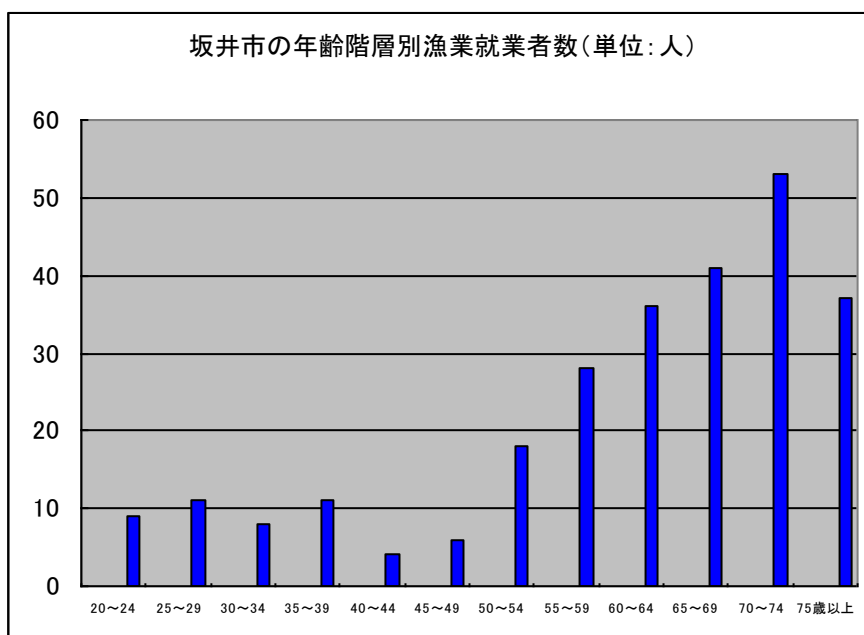
(※1) 漁業経営体：過去1年間に利潤又は生活の質を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所。

(※2) 漁業就業者：満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した者。

資料：平成20年福井県の漁業 2008年漁業センサス報告書

福井県内沿岸市町の漁業経営体(※1)と漁業就業者(※2)数をグラフにしてみました。平成20年11月1日現在の坂井市の漁業経営体数は175経営体、漁業就業者数は262人で、漁業経営体は県内1位となっています。しかし漁業就業者数は、越前町に次いで2位です。この結果から坂井市では少人数の漁業経営体が多いことが予想されます。

□漁業にも高齢化の波



坂井市の漁業就業者を年齢階層別にグラフに表してみました。

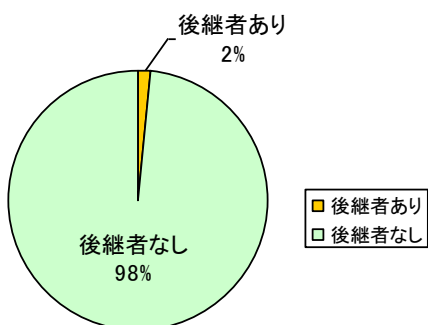
全国的に漁業にたずさわる人は若い人が少なく高齢化の傾向にあります。

坂井市も例外ではなく、高齢者の割合が高くなっています。

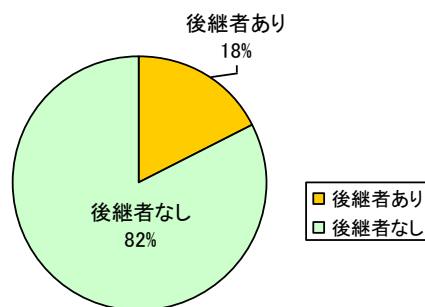
資料：平成20年福井県の漁業 2008年漁業センサス報告書

自営漁業の後継者(※3)の有無についても、下の円グラフから分かるように後継者がいないと答えた割合が坂井市では 98%と福井県全体の割合の 82%と比べても高く、漁業就業者の高齢化と共に後継者がいないと答えている割合も高いことがわかりました。

自営漁業の後継者の有無
(坂井市)



自営漁業の後継者の有無
(福井県全体)

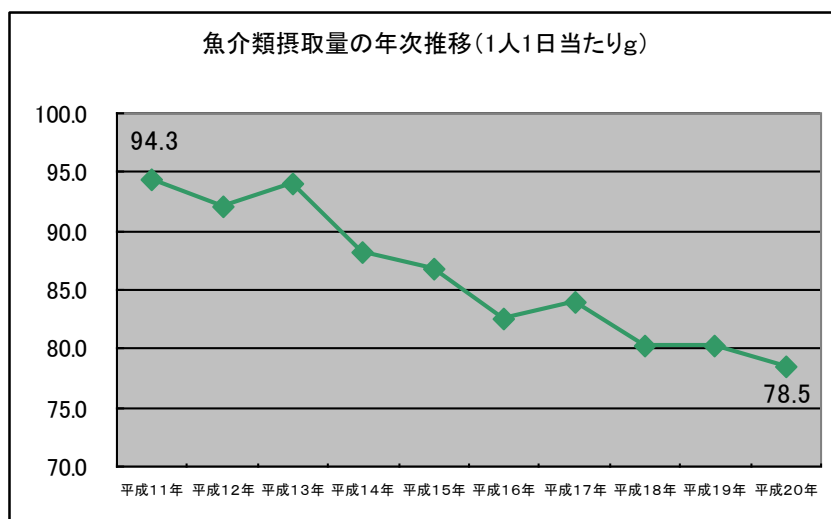


(※3) 自営漁業の後継者：満 15 歳以上で過去 1 年間に漁業に従事した者で将来自営漁業の経営主になる予定の者
資料：平成 20 年福井県の漁業 2008 年漁業センサス報告書

【漁業センサス】の結果から分かった漁業に関する実態は、これからの漁業の振興を図るための基礎資料として活用されています。次回の調査は平成 25 年に実施される予定です。

□子どもや若者の『魚離れ』

それでは、魚の消費についてはどうでしょうか。国民 1 人 1 日当たりの魚介類摂取量をグラフに表してみました。



魚介類の摂取量は、この 10 年間で 15.8 g (約 16.7%) 減っています。

グラフにはありませんが、特に 50 歳代より若い世代の魚介類摂取量が少なくなっている傾向にあるようです。

資料：平成 20 年国民健康・栄養調査報告書

近年、子どもや若者が魚介類より肉類を好む『魚離れ』が問題となっています。

魚には、DHA（ドコサヘキサエン酸）や EPA（エイコサペンタエン酸）など子ども達の脳の成長に必要な栄養が多く含まれていることが分かっています。また坂井市で一番獲れているえびは、高タンパク低脂肪で、生活習慣病の予防に効果のあるタウリンという栄養素も含まれています。

地元で獲れた新鮮な海産物を食べて、坂井市の水産業の発展に協力してみてはいかがでしょうか。

★ 今回の数字の答え★：平成 21 年度沿岸漁業漁獲高 520,376 kg (平成 22 年版坂井市統計年報)